

「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

小中学校の臨時休校措置について

2月27日(木)の夜に発表された政府による新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休校措置に関する要請を受け、日南町では、国および県教育委員会の方針にもとづいて、3月2日(月)から日南小学校、日南中学校の臨時休校を決定しました。また、3月13日(金)の県教育委員会からの要請を受け、小中学校の分散登校を実施することとなりました。このことにつきまして、保護者や町民の皆様にご理解・ご協力をいただきましたこと、誠にありがとうございました。

休校後は、多くの児童生徒が自宅で過ごすこととなり、随分とご不便をおかけしたものと思います。仕事の都合などで、放課後児童クラブにお子さんを預けなければならないご家庭もありましたが、多くのご家庭で対応していただき、混乱もありませんでした。保護者の皆様のご協力あつてのことと思います。改めて感謝申し上げます。

また、卒業式も在校生や来賓の参加を取りやめ、例年とは大きく異なる形で行うこととなり、卒業生をはじめ、多くの方が残念な思いをされたことと思います。しかし、各地で卒業式が中止になったり、各種イベントや会合等も相次いで中止されたりする中、「せめて卒業式は」と多くの方にご理解いただき、開催することができたことに感謝したいと思います。

4月以降もまだまだ新型コロナウイルスの影響は大きいと思われませんが、いよいよ新年度が始まります。卒業生は新しい学校で、在校生もそれぞれ進級して、新たな1年がスタートします。日南町の子どもたちにとって実り多い1年間になることを期待したいと思います。また、町民の皆様には、今後も学校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

学校における「働き方改革」

最近の学校には様々な教育課題がのしかかり、子どもをめぐる問題も複雑化・困難化する中で、教員の業務量は増え続け、長時間労働や人手不足、メンタルヘルスの問題等、学校＝「ブラック」というイメージさえあるようです。こうした背景もあり、学校にもいよいよ「働き方改革」の波が押し寄せてきました。

昨年12月に行われた法改正により、次のようなことが決定され、4月からの学校には大きな変化が求められています。

- ①教員の時間外勤務時間は、年間360時間（多い月でも最大45時間）を上限とすること。
- ②学校・教員の業務内容（何が学校や先生の仕事なのか）の見直しを行うこと。
- ③部活動等への外部人材の活用や部活動ガイドラインの遵守によって、部活の負担を減らすこと。
- ④個々の事情を踏まえて、長期休業中に休日のまとも取りができるようにすること。
- ⑤取り組み状況を市町村ごとに把握し、公表すること。・・・など。

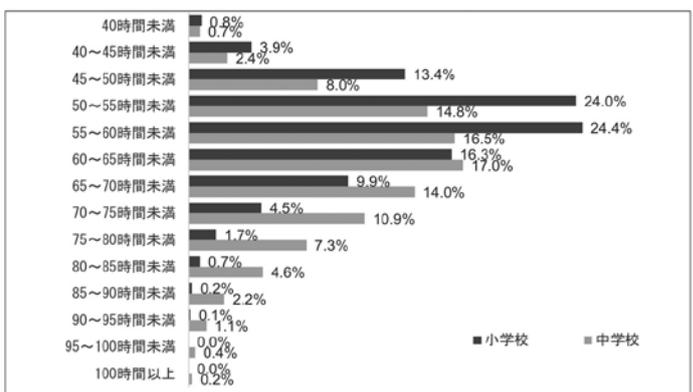
そもそもこれらの改革は、業務改善により、教員が子どもたちと向き合う時間を確保し、学校教育の向上を図るためのものですが、学校の姿を大きく変えるものでもありま



す。例えば、教職員は概ね夕方6時半までには退勤し、これまで自宅に持ち帰って行うこともあった授業の準備などの業務も、退勤までに学校で行わなければなりません。また、土日等に部活指導を行うためには、その他の業務にける時間を削減する必要もあります。また、学校行事をはじめ、学校の業務内容そのものも見直しを行い、業務量全体を減らしていくことも必要です。

教育委員会では、学校教育の改善のために、学校の働き方改革を推進してまいります。保護者や地域の皆様には、今後、地域の中で子どもたちの居場所づくり・受け皿づくりにお力添えいただきたいと考えていますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【図】1週間当たりの学内総勤務時間数の分布



平成28年度教員勤務実態調査(文部科学省)より

